飛翔

第51号

仁風学園　入所児童作品

平成27年1月 第4回「あきらめない絵画コンクール」最優秀賞受賞

表紙は、第４回あきらめない絵画コンクールで最優秀賞を受賞した、
入所児童の作品をもとにアーティストがコラボレーションした作品。

CONTENTS

・理事長就任挨拶……2
・施設特集……3
・平成28年度事業計画……4
・平成27年度事業報告……5
・ねっとわーく～施設の窓から～……6
・シリーズ女(ひと)……12

社会福祉法人　鹿児島県社会福祉事業団

Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517　鹿児島市鴨池新町1番7号鹿児島県社会福祉センター4F
TEL 099-257-7667　FAX 099-259-3939
E-mail　syakai-j@topaz.ocn.ne.jp　URL　www.kagoshima-swc.jp

就任ごあいさつ

理事長　森　秀樹

この度、４月１日付けで白尾前理事長の後を受けて、理事長に就任いたしました。当事業団は、昭和37年に全国で３番目に設置された、歴史ある法人であり、その理事長に就任するに当たり、身の引き締まる思いであります。

当事業団の基本理念でございます、「一人ひとりのおもいを大切にします」、「みなに笑顔を届けます」、「地域のくらしを守ります」という３つの基本理念を念頭に、利用者の皆様へ質の高いサービスを提供するとともに、地域から愛される法人として前進していきたいと考えておりますので、皆様方のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、現在、当事業団を取り巻く環境は先行き流動的で厳しい状況にございます。経営組織のガバナンス及び財務規律の強化や、事業運営の透明性の向上等を目的とした社会福祉法等の一部改正、障害者総合支援法の見直し、社会的養護施策の拡充、子育て支援の推進、介護人材確保に向けた国の取組の拡大など多岐にわたる対応が求められております。

こうした状況のなか、当事業団では、利用者の生活環境の改善を図る観点から、老朽化している施設を対象とした施設整備を推進しており、平成21年の「同胞保育園」の全面改築を皮切りに、平成23年に「鹿児島みなみ保育園」、平成24年に「若葉学園」及び「川内自興園」、平成27年に「ゆすの里」、平成28年に「婦人保護施設」及び「リハステーションゆす」の７施設の全面改築を行ったところでございます。現在は、母子生活支援施設菊花寮の全面改築に取り組んでおりますが、未整備の施設の老朽化も進んでいる状況であります。今後、老朽化した施設を計画的に整備していくためにも、さらなる財務基盤の強化が求められております。

また、当事業団では、現在、さらなる県民福祉の増進や福祉サービスの質の向上に引き続き努め、永続的に事業団に与えられた使命を果たしていくために、新たに平成30年度までを計画期間とする「鹿児島県社会福祉事業団第二期経営計画」を策定し、「質の高い福祉サービスの提供」、「地域福祉の推進」、「経営基盤の強化」、「人材の育成」、「法人の一体的経営」の５つの経営課題を掲げ、「基本理念の周知と心ある実践」や「個別支援計画の充実」などの具体的な推進目標を定め、その実現を目指し、「自律的かつ自主的な経営」を確立していくこととしております。

さらに、各施設においては、地域における社会福祉事業の担い手として、利用者や地域のニーズを的確にとらえ、質の高いサービスの提供と自立に向けた支援に努めるとともに、これを支える経営基盤をより確かなものとし、利用者の皆様に選択される福祉サービスを提供することが、肝要であると考えております。

関係の皆様方におかれましては、私ども社会福祉事業団役職員一体となって、本県社会福祉の向上及び当事業団の今後の発展のため取り組んでまいりますので、引き続き一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、就任のご挨拶といたします。

鹿児島県社会福祉事業団シンボルマーク

～事業団シンボルマークのコンセプト～

鹿児島県社会福祉事業団が運営する児童・障害者・高齢者・女性の４種の福祉を「心」を象徴するハートで表現し、中心に鹿児島県の頭文字「K」を表したデザインで、優しく、心のこもった福祉サービスを提供し、県民福祉に寄与することを示しています。

～シンボルマークの配色～

４つのハートは暖かい雰囲気の中間色で、「K」のマークは広く透き通った空と海の色である「青」で表現しました。

平成 24 年 12 月 20 日制定

～特集～ 障害者支援施設 ゆすの里
～見えない障害と闘う人たちを支援～

ある本に、こう書いてありました。

「自分が獣になっていく。」

病気や事故によって脳が損傷されたために、認知機能（高次脳機能）に障害が起き、食事や排泄といった本能的な部分のみになっていく――

高次脳機能を持つということは、人間が組織に属し、意志や情報、記憶を伝達し、社会的生活を送るに当たって、動物とは一線を画す大きな違いです。

周囲の人に、「変わった人」・「おかしい人」とレッテルを張られるなど、高次脳機能障害は見えない障害と言われています。

高次脳機能障害が治るということは現実的に極めて厳しい状況ですが、高次脳機能障害を持っていても、その人らしく生活する環境は整えていくことができます。

ゆすの里では、入所を希望する高次脳機能障害者を支援するため、平成二十七年四月、生活訓練をスタートさせました。

平成二十八年四月には、「読む」・「話す」という人間独自のコミュニケーションツールに関する専門職（言語聴覚士）を採用し、作業療法士や理学療法士、認定心理士と相俟って、県内外の研修や先進地視察等を通じて新しいことに目を向け、実際に試行を繰り返すなど、生活訓練プログラムの充実強化に取り組んでいます。

また、管理栄養士や看護師、パソコンインストラクターなど多岐にわたる専門職が持ち得る知識を活かし、興味・関心を奮い立たせる話や、時に生活におけるスパイスとして講話の機会も増やすなど、ゆすの里だからこそできる訓練を目指していきたいと思っています。

これからは、家族支援にも力を入れていく予定です。ご家族の高次脳機能障害に対する理解を深めるとともに、ご家族が笑顔でより良い生活を送ることができるよう、思いや悩みを語り合い、共有する場を設けたいと考えています。

私たち職員はファシリテーターの自覚を持って、見えない障害と闘っている人たちが住み慣れた地域で、自分らしく生きがいのある生活を安心・安全に送れるよう、全力で支援していきたいと考えています。

作業療法士兼支援員
中村　憲史

平成28年度　事　業　計　画

我が国の景気は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待されている。ただ、海外経済で弱さが見られており、中国をはじめとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクもあるなど厳しい状況にあるとされている。

このような中、県においては、高齢化の急速な進行や医療費の増により扶助費が引き続き増嵩する傾向にあり、公債費も引き続き高水準で推移することが見込まれていることなどを踏まえ、今後とも厳しい財政状況が続くものと見込まれている。

一方、経営組織のガバナンスと財務規律の強化等の社会福祉法人制度の改革、障害者総合支援法の施行後３年目途の見直し、社会的養護策の拡充、介護人材確保に向けた国の取組の拡大など、当事業団を取り巻く環境は先行き流動的で厳しい状況である。

こうした中、事業団においては、さらなる県民福祉の増進や福祉サービスの質の向上に引き続き努めるとともに、永続的に事業団に与えられた使命を果たしていくために、新たに「鹿児島県社会福祉事業団第二期経営計画」を策定し、「質の高い福祉サービスの提供」、「地域福祉の推進」、「経営基盤の強化」、「人材の育成」、「法人の一体的経営」の５つの経営課題を掲げ、当該課題に沿って24の推進目標を定め、その実現を目指し、「自律的かつ自主的な経営」を確立していくこととしている。

更に、各施設においては引き続き、鹿児島県社会福祉事業団基本理念と職員倫理綱領に基づき、利用者や地域等のニーズを的確にとらえ、質の高いきめ細やかなサービスの提供と自立に向けた支援の充実に努めるとともに、地域における社会福祉事業の担い手として、厳しい競争の原理に耐え得るより高い水準の事業経営を推進していく。

1　質の高い福祉サービスの提供

職員全員が法人の基本理念に沿って同じ視点に立ち、利用者が自立して豊かな生活を送れるように専門的なサービスの提供を目指す。とくに、第三者評価の受審や個別支援計画のさらなる充実を図ることで、より一層のサービスの向上を図る。

2　地域福祉の推進

社会福祉法人の使命である、公益的取組について、事業団としての定義の明確化と、具体的計画を定め実践していく。新規事業については、当事業団が持っている専門性を活かし、国・県・市等からの業務受託や新たな自主事業への取組を検討、実施し、地域福祉の推進に貢献する。

3　経営基盤の強化

経営指標を理解し、目標値の達成への取組や月次実績の分析、経営状況の把握等を通じ、経営に関する意識を向上させ、経営基盤の強化を図る。また、安定した法人経営のために、経営的視点を持った職員を育成する。コンプライアンス意識の浸透を図り、より社会的に信頼される法人を目指す。

4　人材の育成

人材確保と人材育成を重視する。法人、施設の効果的職員研修体系を整備確立し、さらなるサービスの質の向上を目指す。また、定期的な職員満足度調査により、働きやすくやりがいのある職場づくりに努め、事業団職員であることの帰属意識の向上を目指す。

5　法人の一体的経営

新たな雇用形態について検討し、施設整備を引き続き行いながら、経営の安定と持続的発展を目指す。法人や各施設の経営課題を法人全体で解決するとともに、新たな事業展開への財源や体制作りを行い、施設経営や運営をより強固なものにしていく取組みを推進する。

平成 27 年度　事　業　報　告

我が国の景気については、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待されている。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがあるとされている。

一方、経営組織のガバナンスと財務規律の強化等の社会福祉法人制度の改革、障害者総合支援法の施行後３年目途の見直し、社会的養護施策の拡充、介護人材確保に向けた国の取組の拡大など、当事業団を取り巻く環境は先行き流動的で厳しい状況である。

こうした中、さらなる県民福祉の増進や福祉サービスの質の向上に努めるとともに、永続的に事業団に与えられた使命を果たしていくために、３カ年の経営計画の最終年度としての課題解決と新たな経営計画の策定に積極的に取り組み、財政基盤の強化を図った。

さらに、各施設においては、事業団職員倫理綱領に基づき、利用者や地域等のニーズを的確に捉え、質の高いきめ細やかなサービスの提供と自立に向けた支援の充実に努めるとともに、地域における社会福祉事業の担い手として、厳しい競争の原理に耐えうるより高い水準の事業経営を推進した。

1　質の高い福祉サービスの提供

施設理念を集約した法人の基本理念の策定、利用者毎の個別支援計画の充実を図るための施設別マニュアルの作成を行ったほか、福祉サービス第三者評価を６施設が受審した。また、利用者が自立して豊かな生活を送ることができるように専門的なサービスの向上を目指し、サービス提供実践事例等について、各種研修会等の機会を捉えて発表を行った。

2　地域福祉の推進

社会福祉法人の使命の一つである社会貢献について､法人（各施設）が持つ専門性を活かしつつ、地域福祉の増進に貢献するための新たな自主事業の展開について検討した。また、リハステーションゆすについては、平成 28 年度の事業開始に向け、施設整備が完了した。

3　経営基盤の強化

施設別財務状況と法人財務状況を把握し、施設目標と法人目標を連動させて推進することで、財務基盤の強化を図った。

4　人材の育成

サービスの質の向上に資するため､「施設内研修の手引き」や「諸規則の研修テキスト」を作成して施設内研修の充実に努めるとともに、職員満足度調査を実施し、職員の帰属意識を高められるような取組みについて検討を行った。また、階層別研修において内部講師を育成するなど、研修の内製化に取り組み、人材の育成を図った。

5　法人の一体的経営

組織体制の再編整備、養護老人ホームのあり方に関する情報収集、人事考課制度導入を検討するための研修に取り組むとともに、経営計画の目標別実施計画により進捗管理を行った。また、施設整備については､「ゆすの里全面改築工事」､「通所リハビリ施設及び入居施設新築工事」が完了したほか､「菊花寮全面改築工事」に着手した。

6　理事会等の開催状況

理事会及び評議員会を開催し、事業計画・事業報告、予算、決算、定款・諸規則等の改正、理事の選任、評議員の委嘱、施設長の任免、施設整備等法人の業務に関する重要事項について審議、同意された。

ねっとわーく ～施設の窓から～

児童養護施設　仁風学園
かごしま子どもHUGネット事業

鹿児島維新ライオンズクラブが実施しているかごしま子どもHUGネット事業の一環として、パークゴルフに招待していただきました。

かごしま子どもHUGネット事業とは、社会的養護を必要とする子供達を対象に野球や風船のパフォーマンス・バンド演奏などを通し、子供達が少しでも笑顔になればという願いから行われている取り組みです。

今回は初めての試みであったため、小学生九名での参加となりました。

当日の天候は、夏の日差しが差し込む心地よい晴天となりました。チーム構成は、一チーム三名の子ども達と、大人（維新ライオンズクラブのメンバー）一名で構成し、いよいよプレー開始です。

予想していたよりも本格的なコースに興奮を隠しきれない子ども達は、ゴルフクラブを手にして大はしゃぎ。各チームとも優勝を目指して、意気揚々とプレーします。高低差のあるコースやロングコースに苦戦しながらも子ども達は、空振りをしないよう気を付けながら、ピンに狙いを定め、一打一打丁寧に打ち出していきます。ライオンズクラブの方から打ち方を教えて貰いながら、徐々に上手くなっていく子ども達は、とても嬉しそうな表情を浮かべていました。女の子や低学年の子ども達にとっては難しいコースもありましたが、最後まで諦めることなくプレーすることができ、本当に良い時間を過ごしていました。

帰りの車中では、本日の反省や自慢話で盛り上がり、またプレーしたいと話す子ども達ばかりでした。このような体験が、情緒面の成長の一助となればと思いながら心地よい疲れに浸る帰路となりました。

児童指導員　谷口　征史朗

児童養護施設　若葉学園
街カフェ体験

今年度、新たな行事の一環として、五月に「街カフェ体験」を行いました。

「街カフェ体験」は、カフェでお茶をし、普段と違う雰囲気を味わう中で会話を楽しむことをねらいとしています。

子ども達は、新しい行事をとても楽しみにしており、中でも最初の体験者として私の担当児二人も楽しみにしている様子でした。

行き先を決める段階でもワクワクしており、「普段なかなか食べられないスイーツをたくさん食べる！」とHさんは意気込んでいました。

当日の天候はあいにくの雨でしたが、Hさんは午前中の部活が終わると急いで帰園し、出発時間には二人とも準備万端です。車中では、「何を食べようか？」と会話に花を咲かせていました。

カフェに到着し席に着くと、Hさんはカフェのような静かな場所で食事をしたことがないとそわそわしていましたが、Kさんがうまくフォローし、二人とも楽しげな様子でした。

二人ともメニューをじっくり見ながら、Kさんはクレープを、Hさんはパフェを頼みました。また、その日はHさんの誕生日が近かったこともあり、事前にその事を店側に伝えておくと、ろうそくとメッセージの書かれたプレートが添えられたパフェが運ばれてきました。

Hさんはとても驚いており、日頃は写真を嫌がるHさんですが、店員さんが「一緒に写真をとりましょうか？」と声を掛けて下さると、「はい。」と答え、笑顔で写真を撮りました。Hさんはろうそくの火を消すのも初めてで、「どうするの？」と聞きながらも嬉しそう

な表情で吹き消していました。
私にとってこのカフェで過ごした時間は、普段学校や塾、部活で忙しい二人とゆっくり話す良い機会になり、また、二人にとっても良いリフレッシュになったようでした。
児童養護施設が徐々に小規模化されていく中で、子ども達との関係作りはとても大切な事であり、小さな集団になるからこそゆっくり向かい合う時間を作ることの必要性を感じています。今後も子ども達と向かい合いながら、楽しい体験が出来たらと思います。

児童指導員　福田　菜月

養護老人ホーム　慈眼寺寿光園
おでばいしもんそ

養護老人ホームでは年々利用者の方の高齢化や介護度の重度化が進み、外出に対する不安や社会的、経済的な理由も重なって、外出を諦め園内で過ごす利用者の方が増えてきています。
そこで利用者の方の生きがいや楽しみにつながればという想いから、今年度は毎月小グループでの外出支援を始めました。
昼食を皆で摂った後、散策や買い物をするのですが、利用者の方は、外出をとても楽しみにされ、毎回大イベントになります。
今日は、その外出の日。店までの道のりは川や海が見え「すごかな～。キレイやね～。」とちょっとしたドライブ気分。目的地のショッピングセンターに着くと「広かとこじゃあ。」と目をキョロキョロさせ建物の大きさと広さに驚いた様子でした。また昼食の際には、ショーケースに飾られたメニューを見て、出発前まで不安そうだった利用者の方が「どれにしよかね。」と目を輝かされたり、「全部美味しそうやね。」と悩まれたり、満面の笑みをこぼされたり様々です。
食事が運ばれ口に入れるや否や「うんまか。うんまかな～。」「こげな料理は初めてじゃ。」と美味しそうに食べておられました。お腹がいっぱいになった後は、ショッピングセンター内の散策タイム。広い店内の様子に目を奪われ、あれもこれもと買い物をしたり、出発までそれぞれの時間を過ごしておられました。
外出は、生活空間を広げ、健康維持や回復に効果があるとも言われています。「来年も元気にしておって、また参加しもんそ。」という利用者の方の声に応え、当園での生活がより充実したものとなるよう支援していきたいと思います。

支援員　前田　ちほみ

注：おでかけしましょう

保育所　同胞保育園
保育に携わって
～エプロンが似合う先生を目指して～

「担任が男の先生って聞いて、心配だったけど子どもが嬉しそうにせいろう先生に抱っこされている姿を見て、本当に安心しました。」入園から一ヶ月経過し、保護者から言われて嬉しかった言葉です。子どもも保護者も初めての保育園で、不安でいっぱいの中、このような言葉をいただき、私自身とても励みになった言葉でした。
今年度から〇歳児の担任をしています。〇歳児の保育は他の月齢児とは全く違う保育だということに担任をして初めて気づかされました。保育士は、子ども達を見ながら離乳食（発達に応じてすりつぶす）を準備し、ミルクを作ります。子育ての経験も〇歳児の担任経験もない私にとって、初めは慣れない保育業務に大変さを感じていましたが、毎日やっているとまるで育児をしているパパのような気持ちになってきました。
保育園で働き始めたばかりの頃は、私の姿をみて泣き出す子どもがいたり、女性の保育士とは違って保護者と心の距離があったりと、自信をなくす日もありましたが、毎日少しずつ心の距離を近づけてようやく関係を作ることができるようになりました。
保育業務のほとんどは女性と男性どちらがやっても変わらないものばかりだと思います。それでも

男性保育士にしか出来ないことをやりたいと思い、始めたことの一つに同胞レンジャーがあります。
特別な日に登場する同胞レンジャーは子ども達が大好きなヒーローで、子ども達の喜ぶ表情を見ると始めて良かったと思います。
保育士は、通常の保育や、行事など大変な仕事ではありますが、子ども達が見せる楽しそうな表情や、子ども達が日々成長していく姿を垣間見ることができる自慢の仕事だと思います。
子ども達の保育を行う中で、男性保育士として少しでも成長できるよう子ども達と一緒に歩んでいきたいと思います。

保育士　増満　誠郎

保育所　鹿児島みなみ保育園

芋苗植え遠足を通しての交流

六月二日、きりん組（五歳児）二十三名は、芋苗植え遠足で川内自興園（障害者支援施設）を訪問させていただきました。バスに揺られて片道約一時間の道のりでしたが、「川内自興園ってどんな所かな？」「畑ってどんなところかな？」と、子ども達はドキドキワクワク、不安と希望でいっぱいでした。

到着すると、はじめて見る畑や芋苗に興味津々で、目を丸くしながら川内自興園の方々のお話を聞いていました。はじめは緊張していた様子でなかなか手が動かず、上手く土を掘ることができなかったり、大事な芽の部分を植えてしまったり、うねの真ん中ではなく横の斜面のほうに植えてしまったりと、感覚が掴めず苦戦していました。川内自興園の方々が丁寧に「ここが芽だよ」と近くで見せてくださったり、うねに目安となるように線を引いて「横に長く掘るんだよ」と教えてくださったりして上手くできるようになってくると、「まだ植えてもいい？」と積極的に苗植えをしていました。土の中から出てきた虫にも大興奮で「これ何の虫？」「カブトムシじゃない？」と、楽しみながら苗を植えることができました。
自然に触れ、芋や畑のことについて学び、川内自興園の方とお話をしながら同じ時間を過ごすことができ、子ども達にとってとても新鮮な体験となったようです。保育園に帰ってきてからも「また行きたい」「秋の芋掘りも楽しみだね！」と、早速秋の実りにも期待を膨らませていました

保育士　松下　温子

鹿児島市南部親子つどいの広場

おともだちいっぱい

「初めてきました。」「同じくらいの子どものお母さん達と話がしたくて。」かわいらしい赤ちゃんを抱っこした新米ママさん方が次々と来館される「たにっこりん」です。
初めて子どもを持ったお母さん方は、これでいいのかなと自分の育児に不安や心配ばかりが尽きないものです。そんなお母さん方が集まって話ができる場があれば、一人で悩むことなく子育ての不安を少しでも減らすことができるのではとスタッフ一同で考えました。それが今年度初めて取り組む「おともだちいっぱい」というイベントです。

第一回目は、〇～三ヶ月の親子が対象で六名が参加されました。日頃の小さな困りごとに「うちもそう。」と頷くお母さん達。おしゃべり会の後は、月齢にあった絵本や手作りの玩具の紹介もしました。
第二回目は、四～五ヶ月の親子さん。親子でのふれあい遊びを楽しんだ後は「もうすぐ離乳食ですね。」とこれから始まる離乳食の話題が多く上がっていました。
第三回目は、六～九ヶ月の親子さん。募集枠いっぱいの二十五人の方が参加されました。玩具を準備し、ハイハイして動き回る子どもを見ながらお母さん方がゆっくり話ができるように環境作りにも配慮しました。「〇〇ちゃんは目元がお母さんそっくり。」など話題が

尽きません。イベント終了後も広場でお話ししたり、連絡先を交換したりする姿もありました。

月齢を細かく分けたことで同じ悩みがより共有しやすくなり、話も弾んでいたようです。

今後実施回数を増やすことを含めて検討し、お母さん方が、安心して笑顔で楽しく子育てができるように少しでも育児の不安解消のお手伝いができたらと考えています。

保育士　江﨑　恵理

障害者支援施設　川内自興園
JKB24

川内自興園では、利用者の方々が自立した生活を目指して日々訓練や作業に取り組んでいます。その中で、利用者の方々は、自分達の生活の場をより良くするため利用者自治会として「ＪＫＢ24の会」を発足しました。

「ＪＫＢ24の会」は、平成二十四年度に旧自興園と旧厚生園が合併し、両施設が一つの施設になり、兄弟のように生活をしたいという願いが込められています。

その願いのとおり、一つとなった川内自興園での日常生活はもちろんのこと、園内で行われている行事についても、この会が主体となり、計画、準備、実施、片付けまでを企画・運営しています。春には総選挙が行われ、その年の役員が選ばれます。夏には屋台村と題したバーベキュー大会を行い、秋にはふれあい旅行を行うために利用者からアンケートを取り、その年の旅行をどのような内容にするかを決めます。冬には、クリスマス＆忘年会を企画し、会場の準備、出し物、プレゼントの準備、司会進行、後片付けまで年間を通じて一番のイベントを開催します。

任期中の最後のイベントとなる、春のお花見では、一年間の「ありがとう」を利用者全員に伝え、「ＪＫＢ24の会」の任期を終了します。

「ＪＫＢ24の会」の役員に選ばれた利用者の方は、一年間を通して常に何らかのイベントを進めている事が多く、忙しい日々を過ごしていますが、いつも晴れ晴れとした表情で任期満了を迎えています。

これからも、「ＪＫＢ24の会」が、主体的に行事等を運営できるようサポートしていきたいと思います。

支援員　鶴崎　文華

かごしま障害者就業・生活支援センター
フラワーアレンジメント体験

当センターでは、利用者の方同士が交流し、職場定着の促進を図ることを目的として年に四回、よか・余暇さろんを行っています。

今年度から隣室を借用して広くなったセンターで、五月二十九日に第一回よか・余暇さろんを開催し、利用者、保護者、職員合わせて二十二名が参加しました。

今回は、フラワーアレンジメント体験を行いました。バラやカーネーション、トルコキキョウなど彩りある花々を講師の手本をもとに、それぞれ自分の好きなイメージでアレンジされ、初めてとは思えないような出来上がりとなりました。

日頃、職場や家庭で花と触れ合う機会や関心のなかった方も多く、参加した利用者の方からは「初めてお花を生けた」、「お花の名前を覚えた」、「今日リビングに飾るんだ」など満足げな声が聴こえてきました。

それぞれの可愛い花々を手に「また明日からお仕事頑張ります」と笑顔で帰宅する利用者を見送ることができ、利用者、職員ともに今後の励みになる一日となりました。

今年度は、新たな取組みとして「よか・余暇さろん通信」を発行します。仕事や生活上の悩み、よか・余暇さろんの感想や意見などを発信、共有し、多くの方に参加してもらうことで交流の輪が広がればと思います。

今後このよか・余暇さろんが、利用者の方同士の交流を図る場となるとともに、在職者の方にとって、明日への活力となるよう取り組んでいきたいと思います。

かごしま障害者就業・生活支援センター

支援員　池元　康太

平成28年度 新規採用職員紹介

❶氏名　❷勤務先・職名
❸特技・趣味　❹リフレッシュ法
❺自己アピール・抱負

❶ 原田　良範
（はらだ　よしのり）
❷ 仁風学園
園長
❸ 弓道
❹ 特に無し
❺ 児童養護施設での仕事を楽しみたいと思います。

❶ 田ノ上　未浦
（たのうえ　みほ）
❷ 仁風学園
児童指導員
❸ 手芸、裁縫
❹ 寝ること
❺ 毎日笑顔で頑張ります。

❶ 児玉　恭子
（こだま　きょうこ）
❷ 仁風学園
児童指導員
❸ 読書（小説・漫画）
❹ 音楽を聞きながらドライブ
❺ 何事にも全力で取り組んで行きます。

❶ 西村　拓也
（にしむら　たくや）
❷ 若葉学園
児童指導員
❸ 趣味…映画鑑賞、ドライブ
特技…バレーボール
❹ 運動して汗をかいた後に温泉に入ること
❺ 何事も積極的に取り組み、笑顔を忘れず、積極的に頑張りたいと思います。

❶ 田畑　将碁
（たばた　しょうご）
❷ 仁風学園
児童指導員
❸ 読書（歴史小説）
❹ 高い所から周囲を見渡すこと
❺ 仕事が楽しくできるよう常にポジティブに物事を考え、行動していきたいです。

❶ 田中　美千代
（たなか　みちよ）
❷ 慈眼寺寿光園　支援員
❸ アウトドア店巡り、お菓子作り
❹ 家族（犬）と公園やキャンプに行くこと
❺ 明るく元気が私のとりえです。仲間や利用者様から「あなたがいてくれて良かった」と言われるような職員になります。

❶ 猿渡　光一
（さるわたり　こういち）
❷ 慈眼寺寿光園　園長
❸ 日本古代史ミステリー訪ね歩き、鉄道、ゴルフ（ラウンド休業中！）
❹ ウォーキング、ストレッチ（椎間板ヘルニアと格闘中！）
❺ 社会保障制度改革による介護保険制度や老人福祉施設の見直しの動きについては、アンテナを高くして、その行方を見誤らないようにしたい。

❶ 橋元　しおり
（はしもと　しおり）
❷ 鹿児島みなみ保育園
保育士
❸ 趣味…音楽鑑賞
❹ 温泉、映画鑑賞、旅行
❺ 積極性と笑顔を忘れず一生懸命頑張りたいです。よろしくお願いします！

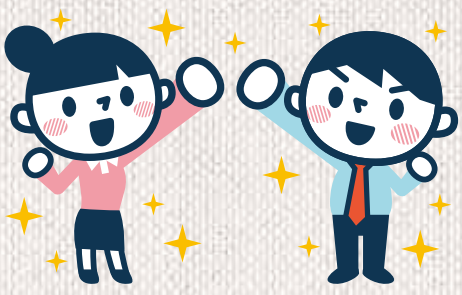
❶ 千代森　葵
（ちよもり　あおい）
❷ 同胞保育園
保育士
❸ スポーツ観戦
❹ 美味しいものを食べる
❺ 保育のスキルアップ目指して頑張ります。

❶ 梅木　和昭
（うめき　かずあき）
❷ ゆすの里
作業療法士兼支援員
❸ バレーボール
❹ ２歳になる子どもと一緒に遊ぶこと
❺ 利用者さんの笑顔が引き出せるよう、専門職と支援員の両方の立場から支援していきたいと思います。

❶ 熊倉　真理
（くまくら　まり）
❷ ゆすの里
言語聴覚士兼支援員
❸ 音声（響）分析ソフトで遊ぶこと
❹ 犬の散歩
❺ 高次脳機能はじめ、リハビリについては経験があります。福祉分野でその経験を活かせるよう頑張ります。

❶ 北野　綾美
（きたの　あやみ）
❷ 川内自興園
支援員
❸ 音楽鑑賞
❹ 旅行・買い物
❺ 事業団の職員として責任を持ち、利用者さんに寄り添いながら笑顔で元気いっぱい頑張ります！よろしくお願い致します。

❶ 小島　愛希
（こじま　あいき）
❷ 川内自興園
主事
❸ ラジオを聴くこと
❹ バンドのライブに行く。
❺ 一日でも早く一人前に仕事ができるように頑張ります！



❶ 重畠　千咲
（しげはたけ　ちさき）
❷ 事務局
主事
❸ バドミントン・読書・神社めぐり
❹ 寝ること・食べること・友達と遊ぶ
❺ 初めてのことばかりですが、何事も積極的に楽しく取り組んでいきたいと思います。よろしくお願い致します。

シリーズ 女（ひと）

ゆすの里
主査支援員
長野　直美さん

今回はゆすの里の長野主査支援員にお話を伺いました。

Q. 事業団で33年働いてきたということですが振り返ってみていかがですか？

A. 今までで転勤が7回ありました。それぞれの施設での業務内容や対象の方々が全く違うからこそ楽しく続けることが出来ました。

Q. 事業団で勤務された33年間の思い出は何ですか？

A. 最初の慈眼寺寿光園の時はただがむしゃらで、次の同胞保育園では目指していた保母さんの仕事だったこともあり楽しくできました。その後ゆすの里で働くことで福祉というものはその場の支援だけでは終わらないと実感できました。

ゆすの里は通過施設ですので、目の前の支援だけでなく、利用者さんごとに将来を見据えた上での支援の必要性、重要性を学ぶことが出来ました。

Q. 長野主査の仕事に対するモットーは何でしょうか？

A. 最初の頃に教えてもらった言葉を今でも大切にしています。「かゆいところに手が届く支援でありたい」ということと「してあげることは簡単、その人の為に何が一番必要か考えるべき」ということです。これが私の中の「福祉」であり、その言葉が今でも生きています。

Q. では最後に後輩職員にメッセージをお願いします。

A. 最初に教わったことを忘れずに、それをさらに後輩に伝え、全て自分の立場に置き換えて考えることが大事だと思うので、頑張っていきましょう。

絶えず笑顔で利用者の方の支援に当たっている長野主査。貴重な時間をありがとうございました。これからもご指導のほどよろしくお願いいたします。

インタビュアー
ゆすの里　中村憲史

リハステーションゆす開所式

今年度から事業を開始いたしました、「リハステーションゆす」の開所式を去る四月二十三日に執り行いました。

当日ご出席いただきました、地域の皆様方をはじめ行政や医療機関など関係の皆様方に改めまして感謝申し上げます。

「リハステーションゆす」は、高次脳機能障害者を主たる対象とした通所型のリハビリ施設であります。今後、この「リハステーションゆす」においては、利用者の方の一人ひとりの状態に的確に対応した支援を行いますとともに、地域の皆様と歩んでいける事業所となるよう努力してまいります。引き続き、関係の皆様方の一層のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

苦情解決の対応状況

平成 27 年度に受け付けた当事業団苦情対応規程に基づく苦情の件数は，事業団全体で 35 件でした。

施設種別	苦情件数	苦情申出人				苦情種別内訳						
		利用者	家族	代理人	その他	職員の接遇	サービスの質量	利用料	説明・情報提供	被害・損害	権利侵害	その他
児童養護施設												
養護老人ホーム	5	4	1			2				1		2
婦人保護施設	4	4				1	3					
保育所	10	3	4		3	1	6					3
地域子育て支援拠点事業	2	2				2						
母子生活支援施設	5	5				4						1
障害者支援施設	9	9				3	2					4
合計	35	27	5		3	13	11			1		10

寄せられた苦情に対しましては、「相談・苦情対応マニュアル」に従い迅速かつ適切に対応し解決しています。
今後も利用者・関係者の皆様からの声（相談・苦情）を大切に受け止めサービスの向上に努めていきます。

役員名簿

役職名	氏　名	現　職　名　等
理事長	森　秀樹	
副理事長	下村　一彦	鹿児島県保健福祉部次長
常務理事	南園　隆夫	（事務局長兼務）
理　事	諏訪　弘美	前　鹿児島県社会福祉協議会常務理事
〃	米山　昭規	鹿児島県民生委員児童委員協議会会長
〃	内門　公孝	鹿児島県社会福祉協議会常務理事
〃	海江田　優	鹿児島みなみ保育園長
監　事	野間　健三	元　県立牧ノ原学園長
〃	池田　利博	前　仁風学園長

評議員名簿

役員名	氏　名	現　職　名　等
評議員	森　秀樹	（理事長）
〃	南園　隆夫	（常務理事兼事務局長）
〃	田中　洋	希望ヶ丘病院　医師
〃	渡邉　正人	鹿児島県民生委員児童委員協議会　副会長
〃	田中　正幸	鹿児島県共同募金会　常務理事兼事務局長
〃	坂口眞理子	鹿児島県身体障害者福祉協会　常務理事兼事務局長
〃	小城　親治	鹿児島県手をつなぐ育成会　常務理事兼事務局長
〃	梶山　勉	鹿児島県老人クラブ連合会　常務理事兼事務局長
〃	宿利原一哉	鹿児島障害者職業センター所長
〃	渡邊由美子	鹿児島県青少年男女共同参画課長
〃	印南百合子	鹿児島県社会福祉課長
〃	有村　智明	鹿児島県介護福祉課長
〃	橋口　秀仁	鹿児島県障害福祉課長
〃	平　勝義	鹿児島県子ども福祉課長
〃	足利　信行	川内自興園愛護会長
〃	市来より子	同胞保育園長
〃	徳永　千早	若葉学園長

平成 27 年度　決算報告

資金収支計算書

平成 28 年 3 月 31 日現在　（単位：円）

勘定科目		予算	決算	差異
事業活動による収支	事業活動収入計	1,921,634,000	1,933,054,342	△ 11,420,342
	事業活動支出計	1,766,205,000	1,686,567,029	79,637,971
	事業活動資金収支差額	155,429,000	246,487,313	△ 91,058,313
施設整備等による収支	施設整備等収入計	291,966,000	293,355,800	△ 1,389,800
	施設整備等支出計	664,663,000	659,782,169	4,880,831
	施設整備等資金収支差額	△ 372,697,000	△ 366,426,369	△ 6,270,631
その他の活動による収支	その他の活動収入計	306,663,000	299,038,469	7,624,531
	その他の活動支出計	165,334,000	164,111,997	1,222,003
	その他の活動資金収支差額	141,329,000	134,926,472	6,402,528
予備費支出		17,428,000	0	17,428,000
当期資金収支差額合計		△ 93,367,000	14,987,416	△ 108,354,416
前期末支払資金残高		389,966,000	389,966,145	△ 145
当期末支払資金残高		296,599,000	404,953,561	△ 108,354,561

事業活動計算書

平成 28 年 3 月 31 日現在　（単位：円）

勘定科目		当年度決算	前年度決算	差異
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	1,902,527,608	1,787,295,928	115,231,680
	サービス活動費用計	1,760,879,866	1,657,994,076	102,885,790
	サービス活動増減差額	141,647,742	129,301,852	12,345,890
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	30,279,590	18,173,722	12,105,868
	サービス活動外費用計	1,500,000	0	1,500,000
	サービス活動外増減差額	28,779,590	18,173,722	10,605,868
経常増減差額		170,427,332	147,475,574	22,951,758
特別増減の部	特別収益計	293,355,800	621,694,800	△ 328,339,000
	特別費用計	222,450,794	632,258,649	△ 409,807,855
	特別増減差額計	70,905,006	△ 10,563,849	81,468,855
当期活動増減差額		241,332,338	136,911,725	104,420,613
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	932,588,933	830,177,208	102,411,725
	当期末繰越活動増減差額	1,173,921,271	967,088,933	206,832,338
	その他の積立金取崩額	282,560,791	149,000,000	133,560,791
	その他の積立金積立額	183,500,000	75,300,000	108,200,000
	次期繰越活動増減差額	1,308,157,062	932,588,933	375,568,129

貸借対照表

平成 28 年 3 月 31 日現在　（単位：円）

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,056,350,425	587,774,654	468,575,771	流動負債	697,220,292	240,957,355	456,262,937
固定資産	4,121,785,906	3,766,264,696	355,521,210	固定負債	257,256,586	266,279,388	△ 9,022,802
				負債の部合計	954,476,878	507,236,743	447,240,135
				純資産の部			
基本財産	3,404,190,789	3,077,770,776	326,420,013	基本金	531,752,699	531,752,699	0
				国庫補助金等特別積立金	2,235,424,692	2,099,900,184	135,524,508
その他の固定資産	717,595,117	688,493,920	29,101,197	その他の積立金	148,325,000	282,560,791	△134,235,791
				次期繰越活動増減差額	1,308,157,062	932,588,933	375,568,129
				純資産の部合計	4,223,659,453	3,846,802,607	376,856,846
資産の部合計	5,178,136,331	4,354,039,350	824,096,981	負債及び純資産の部合計	5,178,136,331	4,354,039,350	824,096,981

財産目録

平成 28 年 3 月 31 日現在　（単位：円）

資産・負債の内訳	
Ⅰ　資産の部	
流動資産	1,109,467,691
固定資産	4,121,785,906
資産の部合計	5,231,253,597
Ⅱ　負債の部	
流動負債	750,337,558
固定負債	257,256,586
負債の部合計	1,007,594,144
差引純資産	4,223,659,453

おめでとう

表彰 平成28年 春の叙勲受章

海江田 優（鹿児島みなみ保育園）

鹿児島みなみ保育園の海江田優園長が、春の叙勲で瑞宝単光章を受章されました。

海江田園長は、昭和五十三年の入職以来、児童養護施設の児童指導員や、障害者支援施設の支援業務に従事されてこられました。永年にわたり尽力された功績が認められ、今回の受章に至りました。

常に利用者の立場に立った支援を行うとともに、専門性を活かした子育て支援の充実を図りながら、地域の関係機関との連携に積極的に取り組まれる海江田園長がこのような名誉ある章を受章されることは、事業団職員にとって日々の業務に従事していくなかで大変励みになることです。本当におめでとうございます。

お役立ち情報 簡単レシピ

夏はコレ！ トマトとツナの冷製パスタ

簡単なのに超オイシイ！(*´∀`)！
キンキンに冷やしてツルりん♪
毎日食べたくなるパスタです！

レシピ【４人分】
- ●トマト…… ４個
- ●ツナ缶…… １缶
- ●ニンニク…… ２カケ
- ●オリーブオイル…… 大さじ３くらい
- ●コンソメ…… 大さじ２
- ●砂糖…… 小さじ２
- ●塩コショウ…… 適量
- ●パスタ…… 400g

①トマトの皮を剥いて、２センチ角程に切っておく
②にんにくをスライスして細切りにして、フライパンにオリーブオイルをしいて弱火で香りが出るまで炒める
③②に①のトマトを全部入れて（汁も）ツナ缶を油ごと全部入れ、砂糖、コンソメを入れてトマトが崩れるくらいまで中火にかける
④トマトが崩れてきたら塩コショウで味をととのえて、ボールに移してラップして冷蔵庫に入れて冷やしておく
⑤パスタを時間より２分程長く茹でて、ざるに移して水でしめる
⑥※始めは結構熱いので水を流しながら菜箸でグルグルかきまぜて、触れるくらいになったら手でワシワシしめるといいかもです
⑦冷やしておいたトマトソースのボールにパスタを入れて、絡めてお皿に盛って出来上がり♪
⑧パスタをそうめんやひやむぎに変えても美味しいと思います♪

★コツ・ポイント★

手間がかかりますが、トマトは皮をむくと口当たりがいいです。ツナ缶はお好みで２缶に増やしてリッチに♪ツナ缶はそのまま入れるとコクが出ます。気になるなら油をきっても可♪砂糖を入れることで酸味が飛んで食べやすいです。

お疲れ様でした

○平成 28 年 6 月 30 日付け退職

施設名	職名	氏名	
仁風学園	児童指導員	下南 朗子	左から３番目
仁風学園	主査調理師	重田ひとみ	左から４番目
菊花寮	少年指導員	蒲牟田里沙	楕円内（※）

※平成 28 年 1 月 31 日付け退職

○平成 28 年 3 月 31 日付け退職

施設名	職名	氏名	
事務局	理事長	白尾 國豊	中央
仁風学園	園長	西 成人	左から１番目
若葉学園	園長	臼井 英雅	左から２番目
婦人保護施設	寮長	川邊 裕樹	右から１番目
菊花寮	寮長	東 忠昭	右から２番目
川内自興園	園長	渕脇 和子	右から３番目

本誌の掲載につきましては個人情報保護法に基づき本人の承認を得て掲載しています。

社会福祉法人
鹿児島県社会福祉事業団の概要

基本理念

一人ひとりのおもいを大切にします
私たちは、利用者や地域のみなさん一人ひとりの、それぞれのおもいを大切にしていきます

みなに笑顔を届けます
私たちは、みなさんすべてに、心からの笑顔が生まれるよう努めていきます

地域のくらしを守ります
私たちは、地域のみなさんの、自分らしく、生きがいのあるくらしを支えていきます

施設位置	施設種別	施設・事業所名	所在地	利用定員
①	法人本部	事務局	〒890-8517　鹿児島市鴨池新町１番７号 鹿児島県社会福祉センター４階 TEL099-257-7667　FAX099-259-3939 E-mail　syakai-j@topaz.ocn.ne.jp	―
②	児童養護施設	仁風学園	〒891-1304　鹿児島市本名町458-1 TEL099-294-2354　FAX099-294-4410 E-mail　jinpugakuen@axel.ocn.ne.jp	100
③	児童養護施設	若葉学園	〒899-5411　姶良市鍋倉190番地２ TEL0995-65-4313　FAX0995-65-4609 E-mail　nkwakaba@hyper.ocn.ne.jp	88
④	養護老人ホーム	慈眼寺寿光園	〒891-0146 鹿児島市慈眼寺町16番地７号 TEL099-268-2514　FAX099-267-7981 E-mail　jigenji@vega.ocn.ne.jp	70
	指定訪問介護事業	訪問介護ステーション寿光園		―
	指定通所介護事業	デイセンター寿光園		10
―	婦人保護施設		―	30
⑤	保育所	同胞保育園	〒892-0819　鹿児島市柳町３番地３ TEL099-222-2654　FAX099-222-2694 E-mail　douhouchild@po4.synapse.ne.jp	150
	地域子育て支援拠点事業	上町わくわくランド		―
	放課後児童健全育成事業	同胞学童クラブ		―
⑥	保育所	鹿児島みなみ保育園	〒890－0068　鹿児島市東郡元町18番地３ TEL099-253-3145　FAX099-253-3146 E-mail　kago-minami@po3.synapse.ne.jp	110
⑦	地域子育て支援拠点事業	鹿児島市南部親子つどいの広場 （たにっこりん）	〒891-0117　鹿児島市西谷山１丁目3－2 TEL099-266-6501　FAX099-266-6502 E-mail　tanikkorin@kagoshima-swc.jp	―
―	母子生活支援施設	菊花寮	―	20世帯
⑧	障害者支援施設	ゆすの里	〒899-2503　日置市伊集院町妙円寺1丁目1番1号 TEL099-273-4175　FAX099-273-4177 E-mail　yusunosato@kagoshima-swc.jp	日中活動　80 施設入所　70
	特定相談支援事業	ゆす		―
⑨	指定障害福祉サービス事業 （指定生活介護）	リハステーションゆす	〒892-0836　鹿児島市錦江町３番７号 TEL099-295-0415　FAX099-295-0453 E-mail　rihayusu@kagoshima-swc.jp	20
⑩	障害者支援施設	川内自興園	〒895-0007　薩摩川内市百次町1110 TEL0996-22-4801　FAX0996-22-4803 E-mail　jikouen@isis.ocn.ne.jp	日中活動140 施設入所100
	指定障害福祉サービス事業 （指定共同生活援助）	川内ひまわりホーム	〒895-0007　薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-20-1261 E-mail　jikouen@isis.ocn.ne.jp	30
	特定相談支援事業 障害児相談支援事業	あおぞら	〒895-0007　薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-22-5006　FAX 0996-22-5008 E-mail　jikouen@isis.ocn.ne.jp	―
	障害児通所支援事業 （放課後等デイサービス事業）	チャイルドクラブ　あおぞら	〒895-0007　薩摩川内市百次町1110 TEL0996-21-1517　FAX0996-21-1518 E-mail　jikouen@isis.ocn.ne.jp	10
⑪	障害者就業・生活支援センター事業	かごしま障害者就業・生活支援センター	〒892-0838　鹿児島市新屋敷町16番217号 県住宅供給公社ビルC棟2階217号室 TEL099-248-9461　FAX099-248-9462 E-mail　kssc@minos.ocn.ne.jp	―
⑫	障害者就業・生活支援センター事業	ほくさつ障害者就業・生活支援センター	〒895-0027　薩摩川内市西向田町11番26号 TEL0996-29-5022　FAX 0996-29-5033 E-mail　hssc@road.ocn.ne.jp	―